

第2号様式（第5条関係）

SDGs おおたスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGsの内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGsの推進に取り組むことを宣言します。

＜宣言日＞ 2025年 5月 15日

事業者情報					
事業者名		NPO 法人アジア・太平洋まちづくり支援機構			
代表者 職・氏名	職名	理事（会長）			
	氏名	下田 明宏			
ホームページ URL（任意）		https://aptac.asia/			
事業者ロゴ（任意）					
事業者としての 2030 年のあるべき姿					
日本に住みたい、働きたいと思い日本社会に共生する外国人財を育てることを目指し、フィリピンのパンパンガ州アラヤット市タブアン村に 2022 年に PATS（フィリピン・アラヤット・トレーニングスクール）を開校した。PATS で日本語教育及び基本的技能のトレーニングを無償提供し、学生に特定技能外国人の資格取得させたいと、人手不足が課題となっている建設関係、鉄道関係、宿泊関係などの日本企業での就業機会を提供する。 これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17 のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）					
1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に 
○●		○●	○●		○
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任つかう責任 
	○●		○●	○●	
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさを守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナースhipで目標を達成しよう 	
				○●	

目標の達成に向けた取組内容等		
関連するゴール の数字を記入 (複数記入可)	これまでの取組内容	これからの取組内容
1 貧困をなくそう	フィリピンの貧しい地域であるアラヤット市タブアン村周辺の若者が日本で働き日本人と同等の収入を得ることを目標に PATS(フィリピン・アラヤット・トレーニング・スクール) を 2022 年に開校。日本語教育、特定技能教育を 3 期(1 期/年) にわたり、無償実施中。卒業生は、建設関係や宿泊関係などの日本国内企業に就職。給与の一部を実家に仕送りするなどして、貧困の解消に貢献している。 また、学校の建設工事ではこれまで延べ 6 万人以上の雇用を創出。隣接する小学校の生徒には明治アーモンドチョコレート、豊島屋鳩サブレを合計 2 万枚以上提供し、喜ばれている。	日本国内の就職先を確保して、毎年 1 学年 80～100 名程度の就業が継続的にできるようにする。
3 すべての人に健康と福祉を	フィリピンの貧しい地域であるタブアン村周辺の若者が日本で働き日本人と同等の収入を得ることを目標に PATS (フィリピン・アラヤット・トレーニング・スクール) を 2022 年に開校。日本語教育、特定技能教育を 3 期(1 期/年) にわたり、無償実施中。2025 年 1 月には地元への貢献策の 1 つとして、PATS 敷地内に PATS サント・ニーニョ教会を完成させ、オープン。	左記を継続する。
4 質の高い教育をみんなに	PATS では、高校卒業生以上を対象とした入学試験で入学者を選抜し、質の高い日本語教育及び特定技能教育を 3 期(1 期/年) にわたり無償実施中。	4 期生以降、カリキュラムの見直し等、学校側と協議し、特に日本語の会話力の向上に力点を置いた教育を行う。

6 安全な水とトイレを世界中に	校舎内には、水洗トイレを設置している。また学校敷地内に 2 か所のトイレを設置するとともに隣接するタブアン村の小学校には、衛生的なトイレを寄贈した。	
8 働きがいも経済成長も	PATS の卒業生には、特定技能外国人として日本人と同等の条件にて日本国内の企業で働く機会を提供する。それが、PATS 在校生の学習意欲につながっている。	左記を継続する。
10 人や国の不平等をなくそう	PATS の卒業生には、特定技能 1 号で日本人と同じ条件で就労できるよう支援している。 これまでの就職実績 PATS 1 期生 22 名 PATS 2 期生 42 名 PATS 3 期生 76 名（予定、2 期生 5 名含む）	今後も卒業生全員の就職を目指す。
11 住み続けられるまちづくりを	大田区を中心に、木造住宅密集地区の共同化や再開発事業、高齢者・障がい者介護の福祉施設建設などに参画。2019 年にアジア諸国のまちづくり等の支援事業を推進するため、事業内容に国際協力の活動、職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動を追加。2022 年に PATS を開校し、フィリピンとの共同事業を推進中。	左記を継続する。
17 パートナリシップで目標を達成しよう	抗日戦争の激戦地で反日感情の強いアラヤット市で、「日本人として少しでも胸が張れる支援を」と強く心に抱いてタブアン村をフィリピン一番の村にと努力してきた。建設工事を現地に委ね村民や近隣村民を直接雇用し、大きな経済効果をもたらした。	左記を継続する。